

# 第24期 報告書

2008年3月1日から2009年2月28日まで



ローツエ株式会社

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第24期（2008年3月1日から2009年2月28日まで）の事業の概況と決算につきまして、ご報告申し上げます。



## 事業の概況

### 1. 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国発の金融危機により世界経済が急激に減速する中で、大幅な株価下落や急激な円高の進行による企業収益の悪化、景気後退に伴う個人消費の落ち込みが顕著になりました。

当業界におきましても、DRAMやフラッシュメモリなどの市場価格下落に加え、世界的な景況悪化に伴う需要減少により、国内外の半導体設備投資は大幅な減少となりました。一方、液晶については、量産に向けた積極的な設備投資が行われましたが、液晶パネルの価格下落等により、予定されていた設備投資計画が延期・凍結されました。

このような状況の中で当企業グループは、主力製品であるウエハ搬送装置の受注減少や納入時期の延期等により、国内、海外ともに大幅な売上高減少となりました。一方、韓国子会社では、前期からの受注増加に伴い液晶ガラス基板搬送装置やガラスカッティングマシンの売上高が好調に推移しましたが、連結の売上高や利益におきましては、急激なウォン安の影響を受けることとなりました。

しかし、このような厳しい事業環境の中で、EFEMやプロセス装置に合わせた多彩な組み合わせや形状に対応できる真空プラットフォーム「RVCシリーズ」や、モータとロボットのスライダを一体化で小型化し、部品点数を大幅に削減した低価格で高性能な単軸ロボット「GHRシリーズ」などの新製品を開発し、昨年12月のセミコンジャパン2008に出展いたしました。また、中国での本格的な製品販売を行うため、新会社RORZE TECHNOLOGY TRADING CO., LTD.を上海に設立するなど、将来に向けた事業強化をはかりました。

損益面につきましては、労務費や諸経費の削減などの施策に取り組んでまいりましたが、主力製品の売上高減少に伴う固定費割合の増加や、ベトナム生産子会社における生産量の減少等によって大幅な利益減少となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は8,377百万円（前期比38.3%減）、営業利益154百万円（前期比91.5%減）、経常利益152百万円（前期比91.5%減）、当期純損失34百万円（前期は当期純利益1,298百万円）となりました。

なお、所在地別セグメントの状況につきましては、以下のとおりであります。

〔日本〕 半導体設備投資の減少が大きく響き、主要製品であるウエハ搬送機の受注、販売が低調に推移しました。その結果、売上高4,005百万円（前期比58.8%減）、営業利益138百万円（前期比90.3%減）となりました。

〔米国〕 設備投資環境が厳しく、米国装置メーカー向けの販売が低調に推移しました。その結果、売上高210百万円（前期比70.9%減）、営業損失83百万円（前期は営業利益33百万円）となりました。

〔ベトナム〕 当企業グループ各社におけるウエハ搬送機の受注減少に伴い量産品の生産も大幅に減少したことに加え、棚卸資産の評価損失を計上いたしました。その結果、売上高818百万円（前期比63.8%減）、営業損失283百万円（前期は営業利益117百万円）となりました。

〔台湾〕 大幅な設備投資減少に伴い、ウエハ搬送装置の販売が低調に推移しました。その結果、売上高834百万円（前期比54.4%減）、営業利益149百万円（前期比53.0%減）となりました。

〔韓国〕 韓国における液晶ガラス基板搬送装置及びガラスカッティングマシンの納入が好調に推移し売上高が増加いたしました。その結果、売上高3,875百万円（前期比17.5%増）、営業利益249百万円（前期比2,021.1%増）となりました。

〔シンガポール〕 シンガポール及びその周辺地域で稼働している当社製品のメンテナンスを主体に事業展開をはかりました。その結果、売上高70百万円（前期比13.7%減）、営業損失15百万円（前期は営業利益15百万円）となりました。

〔中国〕 中国で稼働している当社製品のメンテナンスを中心とした事業展開をはかりました。その結果、売上高20百万円（前期比79.7%増）、営業損失17百万円（前期は営業利益1百万円）となりました。

### 2. 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、世界経済の停滞が当面の間続くものと見られております。国内におきましても、円高による企業業績への影響や、雇用情勢の悪化等による個人消費の低迷が懸念され、半導体や液晶の製造装置を取り巻く環境は一段と厳しさを増すものと思われます。そして、デバイスメーカーにおける在庫調整や設備投資抑制が継続され、先行き不透明な事業環境が続く見通しであります。

このような状況の中で当企業グループは、今後ともウエハ搬送装置やガラス基板搬送装置の受注回復に向けた技術営業を展開してまいります。次期の受注及び売上高の確保にあたっては、当面厳しい状況が続くものと思われ、業績見通しは、売上高の減少が一層顕著となり、利益面におきましても赤字で推移するものと見込んでおります。

このような事業環境の中におきましても、当企業グループは、これまでのウエハソータやEFEMに加え、真空プラットフォーム「RVCシリーズ」や単軸ロボット「GHRシリーズ」などの新製品を中心に積極的な事業展開をはかり、中長期的な業績拡大を目指してまいります。

一方、業界における新規設備投資の増加・減少の波は大きく、短期的に変化しやすい環境にあります。また、最先端の新規設備投資は今後も進展していきます。当企業グループは、新製品の開発・生産・販売体制を一層強化するとともに、高品質で価格競争力のある製品を提供し、変化の激しい各市場での新規設備投資ニーズに対応することにより、今後ともクリーンな自動化におけるトップメーカーを目指します。

これにより、通期連結業績につきましては、売上高4,700百万円（前期比43.9%減）、営業損失666百万円（前期は営業利益154百万円）、経常損失706百万円（前期は経常利益152百万円）、当期純損失469百万円（前期は当期純損失34百万円）を見込んでおります。

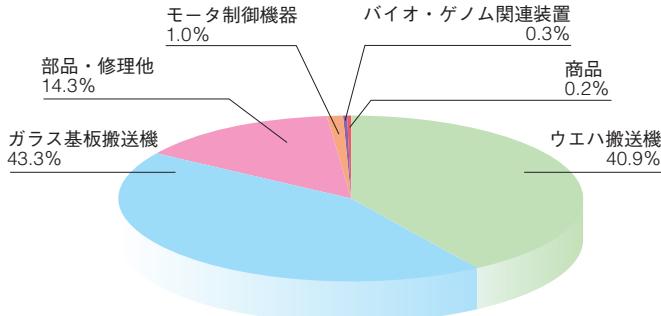
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2009年5月

代表取締役社長

崎谷文雄

### 品目別売上構成



### 3. 財産及び損益の状況の推移

区 分	期 別	第21期	第22期	第23期	第24期(当期)
		2006年2月期	2007年2月期	2008年2月期	2009年2月期
売上高 (百万円)	連	9,795	13,404	13,569	8,377
	単	7,032	9,138	9,716	4,005
経常利益 (百万円)	連	902	1,692	1,806	152
	単	376	965	1,243	35
当期純利益又は 当期純損失(△) (百万円)	連	591	1,073	1,298	△34
	単	210	567	726	3
1株当たり当期純 利益又は1株当たり 当期純損失(△)(円)	連	67.11	121.75	73.62	△1.97
	単	23.91	64.36	41.17	0.17
純 資 産 (株主資本) (百万円)	連	6,601	9,380	10,318	7,960
	単	6,418	6,860	7,481	7,166
1株当たり純資産 (株主資本) (円)	連	748.48	873.29	491.78	396.82
	単	727.73	777.78	424.11	411.96

- (注) 1. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び1株当たり純資産は、期末発行済株式数によっております。  
 2. 第23期の2007年3月1日付をもって1株につき2株の割合で株式の分割(無償交付)を行いました。  
 これにより発行済株式数の総数は、8,820,000株増加しております。

#### ■当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)



#### ■1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)(円)



(注) 第23期の2007年3月1日付にて1株を2株とする株式分割を行っております。

#### ■純資産(百万円)



#### ■1株当たり純資産(円)



(注) 第23期の2007年3月1日付にて1株を2株とする株式分割を行っております。

#### ■売上高(百万円)



#### ■経常利益又は経常損失(△)(百万円)



# 会社の概況 (2009年2月28日現在)

## 1. 主要な事業内容

当企業グループは電子機器の製造販売を主な事業とし、これに附帯する事業を行っており、取扱製品を大別すると次のとおりであります。

品 種	主 要 製 品 名
ウエハ搬送機	大気用ウエハ搬送機、真空用ウエハ搬送機、カセット搬送機、自動読取ウエハソータ
ガラス基板搬送機	大気用ガラス基板搬送機、真空用ガラス基板搬送機
制御機器	ドライバ、コントローラ

## 2. 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 35,280,000株  
 (2) 発行済株式の総数 17,395,799株  
 (自己株式244,201株を除く)  
 (3) 株 主 数 3,313名  
 (4) 大 株 主

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 株 数	出 資 比 率
	株	%
崎 谷 文 雄	8,348,000	47.32
株 式 会 社 中 国 銀 行	320,000	1.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	309,000	1.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	232,000	1.31
株 式 会 社 ジ ャ フ コ	200,000	1.13
ローツエ従業員持株会	176,600	1.00
ザチュースマンハッパンバンクエスイロンドン エスエルオムニバスアカウント	160,000	0.90
中 銀 リ ー ス 株 式 会 社	120,000	0.68
株 式 会 社 広 島 銀 行	100,000	0.56
岩 崎 泰 次	96,000	0.54

## 3. 取締役及び監査役

地 位	氏 名	担当及び他の法人等の代表状況
代表取締役社長	崎 谷 文 雄	RORZE ROBOTECH CO., LTD. 代表取締役会長
取 締 役	中 村 秀 春	RORZE ROBOTECH CO., LTD. 取締役社長
取 締 役	金 子 聡	執行役員 カスタマーサポート本部長
取 締 役	早 崎 克 志	執行役員 海外事業本部長
取 締 役	藤 井 修 逸	株式会社アドテックプラズマテクノロジー代表取締役社長
常 勤 監 査 役	櫻 井 俊 男	
監 査 役	中 西 正 則	公認会計士 (中西会計事務所)
監 査 役	栗 巢 普 揮	

- (注) 1. 取締役藤井修逸氏は、社外取締役であります。  
 2. 監査役中西正則氏及び栗巢普揮氏は、社外監査役であります。  
 3. 監査役中西正則氏は、公認会計士であり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。

## 4. 本社、工場及びF Aセンター

本 社 及 び 工 場：広島県福山市  
 神奈川F Aセンター：神奈川県海老名市  
 京都F Aセンター：京都市伏見区  
 九 州 工 場：熊本県合志市



## 5. 海外子会社

RORZE SYSTEMS CORPORATION (韓国)



RORZE AUTOMATION, INC. (米国)



RORZE INTERNATIONAL PTE. LTD.  
(シンガポール)



RORZE ROBOTECH CO., LTD. (ベトナム)



RORZE TECHNOLOGY, INC. (台湾)

### ■ RORZE INTERNATIONAL PTE. LTD.

資本金：43,388千シンガポールドル

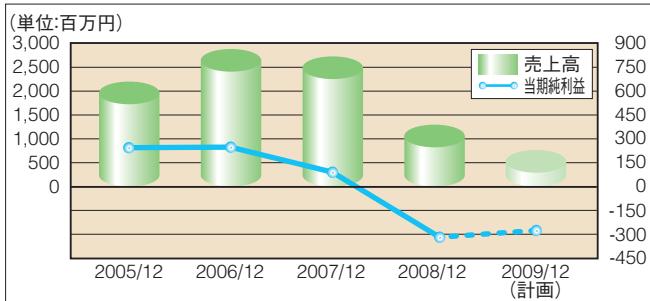
事業内容：電子機器及び半導体装置の部品販売

海外子会社 (RORZE AUTOMATION, INC. RORZE ROBOTECH INC. RORZE SYSTEMS CORPORATION) の統括会社となっております。

### ■ RORZE ROBOTECH CO., LTD.

資本金：22,650千米ドル

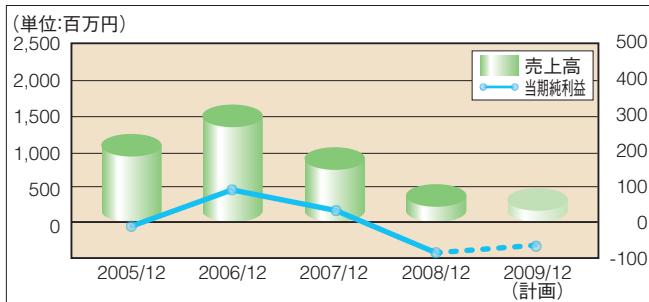
事業内容：モータ制御機器、半導体製造装置用ロボットの製造、ロボット用機械部品加工及び輸出



### ■ RORZE AUTOMATION, INC.

資本金：4,600千米ドル

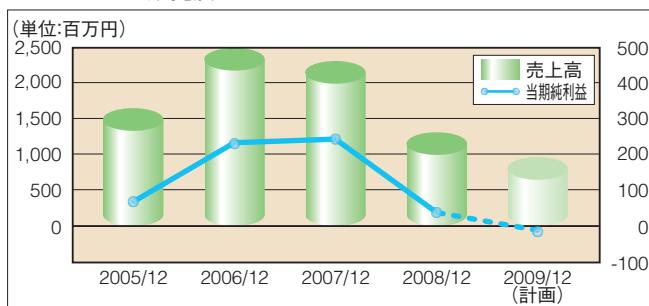
事業内容：米国市場における自動化システムの開発、製造、販売及びメンテナンス



### ■ RORZE TECHNOLOGY, INC.

資本金：100,000千台湾ドル

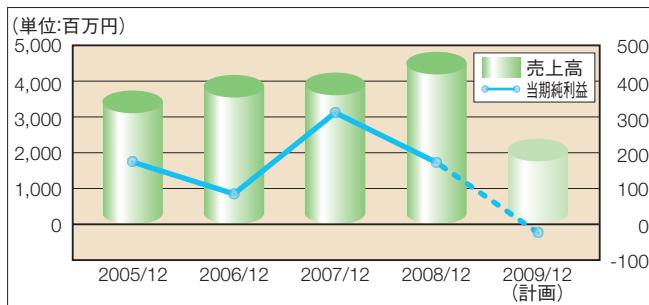
事業内容：台湾市場における自動化システムの開発、製造、販売及びメンテナンス



### ■ RORZE SYSTEMS CORPORATION

資本金：4,000,000千ウォン

事業内容：韓国市場における自動化システムの開発、製造、販売及びメンテナンス



# 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 (2009年2月28日現在)	前連結会計年度末 (2008年2月29日現在)
<b>[資産の部]</b>		
<b>流動資産</b>	<b>8,805,537</b>	<b>12,964,793</b>
現金及び預金	2,482,929	2,086,924
受取手形及び売掛金	2,561,742	5,141,212
棚卸資産	3,582,092	4,778,595
繰延税金資産	117,322	313,406
その他	124,529	703,612
貸倒引当金	△63,077	△58,958
<b>固定資産</b>	<b>6,750,345</b>	<b>8,166,180</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>5,918,621</b>	<b>6,774,002</b>
建物及び構築物	2,639,614	3,405,785
機械装置及び運搬具	367,141	351,145
土地	2,336,930	2,574,063
建設仮勘定	371,846	264,529
その他	203,087	178,477
<b>無形固定資産</b>	<b>182,707</b>	<b>239,539</b>
のれん	247	937
ソフトウェア	49,492	66,429
その他	132,968	172,171
<b>投資その他の資産</b>	<b>649,016</b>	<b>1,152,639</b>
投資有価証券	207,901	382,998
長期貸付金	140,096	191,145
繰延税金資産	197,574	13,415
その他	103,445	567,187
貸倒引当金	△1	△2,108
<b>繰延資産</b>	<b>93,862</b>	<b>186,236</b>
開発費	93,862	186,236
<b>資産合計</b>	<b>15,649,744</b>	<b>21,317,210</b>

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 (2009年2月28日現在)	前連結会計年度末 (2008年2月29日現在)
<b>[負債の部]</b>		
<b>流動負債</b>	<b>5,571,949</b>	<b>8,053,910</b>
支払手形及び買掛金	690,392	1,167,445
短期借入金	4,247,602	4,537,685
未払法人税等	60,319	452,089
未払消費税等	39,201	120,165
賞与引当金	26,529	189,475
役員賞与引当金	—	11,960
製品保証引当金	186,192	231,130
その他	321,711	1,343,959
<b>固定負債</b>	<b>2,116,984</b>	<b>2,945,114</b>
長期借入金	1,585,160	2,235,696
繰延税金負債	181,682	285,476
退職給付引当金	80,112	173,750
役員退職慰労引当金	269,731	249,893
その他	297	297
<b>負債合計</b>	<b>7,688,933</b>	<b>10,999,025</b>
<b>[純資産の部]</b>		
<b>株主資本</b>	<b>8,186,423</b>	<b>8,425,995</b>
資本金	982,775	982,775
資本剰余金	1,127,755	1,127,755
利益剰余金	6,104,282	6,315,465
自己株式	△28,388	—
評価・換算差額等	△1,283,457	248,946
その他有価証券評価差額金	28,206	141,344
為替換算調整勘定	△1,311,663	107,601
少数株主持分	1,057,844	1,643,243
<b>純資産合計</b>	<b>7,960,811</b>	<b>10,318,184</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>15,649,744</b>	<b>21,317,210</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	前連結会計年度 (2007年3月1日から 2008年2月29日まで)
売 上 高	8,377,588	13,569,412
売 上 原 価	6,541,213	9,582,097
売 上 総 利 益	1,836,374	3,987,315
販売費及び一般管理費	1,681,660	2,157,943
営 業 利 益	154,714	1,829,371
営 業 外 収 益	88,262	178,847
受 取 利 息	27,587	47,205
受 取 配 当 金	2,120	5,455
為 替 差 益	19,086	—
受 取 遅 延 損 害 金	—	49,612
保 険 金 収 入	—	29,447
補 助 金 収 入	21,774	—
そ の 他	17,693	47,126
営 業 外 費 用	90,170	201,990
支 払 利 息	79,098	116,260
有 価 証 券 売 却 損	3,062	—
為 替 差 損	—	67,151
そ の 他	8,009	18,579
経 常 利 益	152,806	1,806,228
特 別 利 益	1,565	349,538
賞 与 引 当 金 戻 入 益	1,565	8,543
固 定 資 産 売 却 益	—	281,083
関 係 会 社 清 算 益	—	59,911
特 別 損 失	20,200	30,830
投 資 有 価 証 券 評 価 損	19,999	—
固 定 資 産 除 却 損	200	830
訴 訟 和 解 金	—	30,000
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	134,170	2,124,936
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	113,314	713,008
法 人 税 等 調 整 額	△31,783	△74,596
少 数 株 主 利 益 ( 減 算 )	87,422	187,783
当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 ( △ )	△34,783	1,298,740

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当連結会計年度 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
2008年2月29日残高	982,775	1,127,755	6,315,465	—	8,425,995
連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当	—	—	△176,400	—	△176,400
当期純損失	—	—	△34,783	—	△34,783
自己株式の取得	—	—	—	△28,388	△28,388
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
連結会計期間中の 変動額合計	—	—	△211,183	△28,388	△239,571
2009年2月28日残高	982,775	1,127,755	6,104,282	△28,388	8,186,423

当連結会計年度 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	評価・換算差額等		
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計
2008年2月29日残高	141,344	107,601	248,946
連結会計期間中の変動額			
剰余金の配当	—	—	—
当期純損失	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	△113,138	△1,419,265	△1,532,404
連結会計期間中の 変動額合計	△113,138	△1,419,265	△1,532,404
2009年2月28日残高	28,206	△1,311,663	△1,283,457

当連結会計年度 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	少数株主持分	純資産合計
連結会計期間中の変動額		
剰余金の配当	—	△176,400
当期純損失	—	△34,783
自己株式の取得	—	△28,388
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	△585,398	△2,117,802
連結会計期間中の 変動額合計	△585,398	△2,357,373
2009年2月28日残高	1,057,844	7,960,811

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	前連結会計年度 (2007年3月1日から 2008年2月29日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,720,629	1,329,104
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△193,799	△476,073
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△931,748	△263,275
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△322,496	△56,097
V 現金及び現金同等物の増加額	272,585	533,657
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,086,924	1,553,267
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,359,509	2,086,924

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、期首残高より272百万円の増加となり、当連結会計年度末には2,359百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,720百万円(前期は1,329百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の減少2,160百万円(前期は2百万円の減少)、棚卸資産の減少674百万円(前期は124百万円の増加)となったこと及び前受金の減少等によるその他流動負債の減少782百万円(前期は467百万円の増加)によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は193百万円(前期は476百万円の使用)となりました。これは主に、ベトナム子会社RORZE ROBOTECH CO.,LTD.の工場増設に伴う機械装置の取得等による有形固定資産の取得による支出543百万円(前期は615百万円の支出)の一方で、韓国子会社RORZE SYSTEMS CORPORATIONが前事業年度に売却した旧工場の土地及び建物の売却代金の回収に伴う有形固定資産の売却による収入298百万円(前期は112百万円の収入)があったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は931百万円(前期は263百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,800百万円(前期は2,043百万円の収入)、長期借入金の返済による支出2,070百万円(前期は2,179百万円の支出)及び短期借入金の純減少額449百万円(前期は7百万円の減少)によるものであります。

## 貸借対照表(単体)

(単位：千円)

科 目	当 期 (2009年2月28日現在)	前 期 (2008年2月29日現在)
(資産の部)		
流 動 資 産	5,619,245	8,188,834
固 定 資 産	8,142,499	7,809,666
有 形 固 定 資 産	3,378,723	3,439,628
無 形 固 定 資 産	13,881	19,421
投 資 そ の 他 の 資 産	4,749,894	4,350,616
資 産 合 計	13,761,745	15,998,501
(負債の部)		
流 動 負 債	4,838,683	6,385,061
固 定 負 債	1,756,629	2,132,094
負 債 合 計	6,595,313	8,517,155
(純資産の部)		
株 主 資 本	7,138,225	7,340,000
資 本 本 金	982,775	982,775
資 本 剰 余 金	1,127,755	1,127,755
利 益 剰 余 金	5,056,083	5,229,470
自 己 株 式	△28,388	—
評 価 ・ 換 算 差 額 等	28,206	141,344
その他有価証券評価差額金	28,206	141,344
純 資 産 合 計	7,166,431	7,481,345
負 債 及 び 純 資 産 合 計	13,761,745	15,998,501

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書（単体）

（単位：千円）

科 目	当 期	前 期
	(2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	(2007年3月1日から 2008年2月29日まで)
売 上 高	4,005,600	9,716,611
売 上 原 価	3,122,786	7,362,791
売 上 総 利 益	882,814	2,353,820
販売費及び一般管理費	837,207	1,076,609
営 業 利 益	45,606	1,277,211
営 業 外 収 益	61,216	59,557
営 業 外 費 用	70,935	93,048
経 常 利 益	35,887	1,243,720
特 別 利 益	1,956	11,278
特 別 損 失	20,200	30,613
税 引 前 当 期 純 利 益	17,642	1,224,385
法人税、住民税及び事業税	2,952	537,629
法人税等調整額	11,677	△39,566
当 期 純 利 益	3,012	726,323

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書（単体）

（単位：千円）

当 期 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
2008年2月29日残高	982,775	1,127,755	1,127,755
事業年度中の変動額			
事業年度中の変動額合計	—	—	—
2009年2月28日残高	982,775	1,127,755	1,127,755

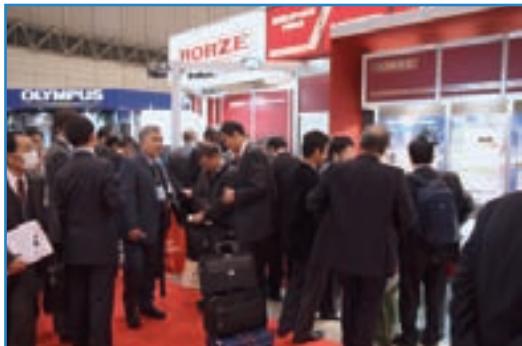
当 期 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	株主資本					
	利益剰余金				自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
2008年2月29日残高	61,382	4,315,000	853,088	5,229,470	—	7,340,000
事業年度中の変動額						
剰余金の配当	—	—	△176,400	△176,400	—	△176,400
別途積立金の積立	—	500,000	△500,000	—	—	—
当期純利益	—	—	3,012	3,012	—	3,012
自己株式の取得	—	—	—	—	△28,388	△28,388
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計	—	500,000	△673,387	△173,387	△28,388	△201,775
2009年2月28日残高	61,382	4,815,000	179,700	5,056,083	△28,388	7,138,225

当 期 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
2008年2月29日残高	141,344	141,344	7,481,345
事業年度中の変動額			
剰余金の配当	—	—	△176,400
別途積立金の積立	—	—	—
当期純利益	—	—	3,012
自己株式の取得	—	—	△28,388
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）	△113,138	△113,138	△113,138
事業年度中の変動額合計	△113,138	△113,138	△314,914
2009年2月28日残高	28,206	28,206	7,166,431

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ●セミコン・ジャパン 2008 (2008.12.3～12.5) : 幕張メッセ

半導体業界最大のイベント、半導体製造装置・材料の国際展示会に真空プラットフォームを実機展示、搬送メカとして新しいプラットフォームの提案を行いました。また、300mmFOUP対応高速読み取りソータ、450mmウエハ搬送の実機デモ及び他社との共同開発/製造製品を出展し、注目を集めました。



真空プラットフォーム

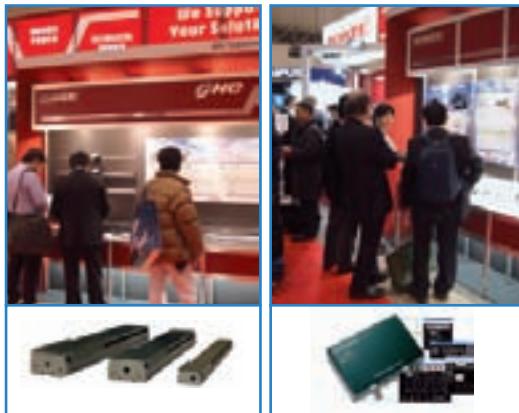


左：450mmウエハ搬送ロボット 右：ウエハソータ



## ・共同開発/製造製品

単軸ロボット GHRシリーズ デバックスコープ MSDB 01R



(株)ジイェムシーヒルストン

(有)MIZOU PROJECT JAPAN

## ●SEMICON China2009 (2009.3.17～3.19) : 上海

ローツェテクノロジー（台湾子会社）製 300mm対応高速ウエハソータ、25枚一括搬送装置の実機をデモ出展いたしました。





## 株 主 メ モ

決 算 期	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基 準 日	定時株主総会・期末配当：毎年2月末日 中間配当実施の場合：毎年8月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全 国各支店ならびに日本証券代行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。

住所変更、单元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証  
券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様  
は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式  
会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出  
ください。